

特集

確かな情報で 安心な出産を 松下産婦人科医院の助産師さんに聴きました

「体調の変化も、夫婦で楽しんで乗り越えてください。」

〈助産師を目指したきっかけと、日々心がけていることは〉

看護学生時代の実習や身近な出産への感動、あるいはテレビドラマで命の大切さを感じたことがきっかけだったという方が多いなかで、今回お話を伺った助産師さんは、事務職からの転身。自身の出産で支えてくれた助産師の姿に感銘を受け、学び直して助産師となりました。

どのお産も緊張感があり、無事に元気な赤ちゃんが生まれることを第一に考えています。妊婦さん一人ひとりに寄り添えるのが助産師の醍醐味です。

〈産後ケアの連携と必要な支援は〉

菊川市は産後ケア制度への対応がスムーズでありがたいと感じている一方で、里帰り出産の方への支援や、自治体間で制度に差があることが課題です。必要な人が経済的理由で

ケアを受けられないのは心配。気軽に相談できる窓口や、突発的なときでも子どもを預けられる環境がもっと整うと、お母さんたちの負担が減ると思います。



市民と議会をつなぐ特集ページです。
今回は、地域で長年お産を支えてきた松下産婦人科医院の助産師さんに、妊娠・出産をめぐる現状や支援制度、助産師のやりがいなどについてお話を伺いました。

〈最近の妊婦さんの傾向とサポートの工夫は〉

現代の妊婦さんは、SNSやネットの情報に影響されやすい傾向があり、情報に振り回されて不安を感じる方も少なくありません。わからないことは医師や助産師に直接聞いてほしいです。最近は男性の育児参加も増えて、育休を取るご主人も増えてきました。

〈無痛分娩の現状は〉

無痛分娩を希望される方はまだ全体の二、三割程度です。体制面や人員の確保が必要なため、実施には限りがあります。東京都では補助制度が始まりましたが、予約が殺到しているとも聞きます。無痛分娩への補助もありがたいですが、それ以上にすべての出産に対して等しく補助があることが望ましいですね。